

## NPO法人 全日本新空手道連盟趣意書

日本が世界に誇る“空手”は、今や世界の到る所に普及しており、“KARATE”は世界共通語となっています。その空手も、合理性を追求する欧米人の実力が年々向上し、日本の空手は世界の水準の遙か後方を歩いていると言っても過言ではありません。

その原因は、一流一派にこだわり、型練習の伝承を主体とした練習体系、閉鎖性にあるのではないのでしょうか。寸止め試合を繰り返しながら、“一撃必殺”の夢を与える古武術空手が、今もなお空手界の主潮流として全国に蔓延しています。一方では直接打撃性の試合が開始され“実戦空手”を標榜する、セミコンタクトの新興潮流が人気を博してきました。

今、格闘技界は新しい時代へと突入しようとしています。時代の流れによって、また新しいものを追求していこうとする意識が武道の世界へも流れています。

日本古来の武道の内に流れる精神は今も昔も変わってはいないでしょう。また、変わってはならないことだと思います。しかし表に見える形、そして技術は、時代とともにどんどん変化し、又、進化していかねばならぬものです。

最も大切な精神を重んずるならば、自ら行っているものへのこだわりを持ち、そのことに対しての追求心がなければ、その心は無に等しいでしょう。だから空手の形も変わっていった当然なのです。

そこで我が全日本新空手道連盟では、従来の練習体系、試合形式を根本的に見直し、基本練習から実戦まで新たな体系を生み出しました。また試合形式も、手による顔面攻撃を認めるフルコンタクトルールを採用し、より実戦的で安全な大会を行っております。さらに、より実戦的な技を追求する中で培う空手道の精神の涵養にも、精力を傾注しております。

現代の物質文明に毒され、利己的な風潮の中で育つ青少年を新空手道を通して、自己に厳しく、他人に優しい21世紀を担う人材に育て上げたいと願っております。

新空手道の技術指導と、礼儀、忍耐、協調、友愛、勇気、根性、正心を備えた健全なニューリーダーの育成を目指すことを全日本新空手道連盟の趣意といたします。